

決算特別委員会産業建設分科会

H 2 7 . 9 . 1 8 (金)

午後 時 分 ~

場所：第 2 委員会室

1 開 会

2 事務事業評価選定事業の論点整理

- (1) 安全・安心の農産物栽培支援事業経費
- (2) 観光 P R 推進事業経費
- (3) 安全なわが家の耐震化促進事業経費

3 その他

(1) 審査日程

- ・ 9 月 2 4 日 (木) 1 0 : 3 0 ~ 所管分審査
- ・ 9 月 2 5 日 (金) 1 0 : 0 0 ~ 所管分審査
- ・ 9 月 2 8 日 (月) 1 0 : 0 0 ~ 事務事業評価

事務事業評価 論点整理資料

安全・安心の農産物栽培支援事業経費																					
主な内容	<p>(主要施策報告書より)</p> <p>有機肥料を利用した安全・安心な農産物の栽培支援 「さくら有機」等の畜産堆肥販売拡大のための補助金交付</p> <p style="text-align: right;">【別紙】事務事業評価提出資料参照</p>																				
選定理由	<p>(前回意見)</p> <p>カーボンマイナスプロジェクト・クールベジタブルについて、所管を移管したことによる事業展開を検証すべき。 土づくりセンターへの実質的な支援にしかっていないか検証し、本来の安全安心の農産物栽培支援のあり方を考えるべきである。</p>																				
論点 (事業の問題点)	<p>(前回意見)</p> <p>安全安心の農産物生産振興につながる効果的な施策であるか。</p>																				
留意点等	<p>関連事務事業経費について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・カーボンマイナスプロジェクト 総務費(企画推進経費):研究委託料 150 万円 大学と協働し、炭素埋設農法を通じた農山村の活性化を可能とする社会システムの調査・研究(販売戦略(立命館)、クールベジ普及・担い手育成(龍谷)、竹炭及び炭素貯留土壌の影響調査(学園大)) ・エコファーマーの認定促進について 安全・安心のエコ農業推進事業経費:445 千円 エコ農業推進啓発補助金交付 4 件 <p>成果・実績について</p> <p>安全・安心農産物生産補助金、優良畜産堆肥支援補助金、炭素埋設農法支援助成金の3つの補助金の推移</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>生産支援補助金</th> <th>畜産堆肥支援補助金</th> <th>炭素埋設農法支援助成金</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>23 年度</td> <td>37 組織 8,064,790 円</td> <td>1,435,000 円</td> <td></td> </tr> <tr> <td>24 年度</td> <td>37 組織 7,959,140 円</td> <td>1,853,200 円</td> <td>778,040 円</td> </tr> <tr> <td>25 年度</td> <td>37 組織 6,130,895 円</td> <td>100 円 × 22,510 袋 2,251,000 円</td> <td>3,670 円 × 551 m³ 2,022,170 円</td> </tr> <tr> <td>26 年度</td> <td>32 組織 5,312,145 円</td> <td>100 円 × 14,067 袋 1,406,700 円</td> <td>2,670 円 × 454 m³ 1,212,180 円</td> </tr> </tbody> </table>		生産支援補助金	畜産堆肥支援補助金	炭素埋設農法支援助成金	23 年度	37 組織 8,064,790 円	1,435,000 円		24 年度	37 組織 7,959,140 円	1,853,200 円	778,040 円	25 年度	37 組織 6,130,895 円	100 円 × 22,510 袋 2,251,000 円	3,670 円 × 551 m ³ 2,022,170 円	26 年度	32 組織 5,312,145 円	100 円 × 14,067 袋 1,406,700 円	2,670 円 × 454 m ³ 1,212,180 円
	生産支援補助金	畜産堆肥支援補助金	炭素埋設農法支援助成金																		
23 年度	37 組織 8,064,790 円	1,435,000 円																			
24 年度	37 組織 7,959,140 円	1,853,200 円	778,040 円																		
25 年度	37 組織 6,130,895 円	100 円 × 22,510 袋 2,251,000 円	3,670 円 × 551 m ³ 2,022,170 円																		
26 年度	32 組織 5,312,145 円	100 円 × 14,067 袋 1,406,700 円	2,670 円 × 454 m ³ 1,212,180 円																		

事務事業評価 論点整理資料

観光PR推進事業経費																			
主な内容	<p>(主要施策報告書より)</p> <p>本市観光振興に係る観光PR活動 るるぶ特別編集京都亀岡スマートフォンアプリ更新</p> <p style="text-align: right;">【別紙】事務事業評価提出資料参照</p>																		
選定理由	<p>(前回意見)</p> <p>スマートフォンアプリについては、どのような効果があるのか疑問であり、事業・経費の妥当性をチェックすべきである。</p>																		
論点 (事業の問題点)	<p>(前回意見)</p> <p>スマートフォンアプリは観光振興につながる効果的なPR施策であるか。</p>																		
留意点等	<p>るるぶ発行・スマートフォンに係る実績の推移</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th></th> <th style="text-align: center;">スマートフォンアプリ</th> <th style="text-align: center;">るるぶ特別編集京都亀岡</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">23年度</td> <td></td> <td style="text-align: center;">30万部・4,830,000円</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">24年度</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">25年度</td> <td style="text-align: center;">アプリ開発・2,675,000円</td> <td style="text-align: center;">20万部・7,769,000円</td> </tr> <tr style="background-color: yellow;"> <td style="text-align: center;">26年度</td> <td style="text-align: center;">アプリ更新・1,242,000円</td> <td></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">27年度 (当初予算)</td> <td style="text-align: center;">アプリ更新・2,800,000円</td> <td style="text-align: center;">第3弾発行 8,580,000円</td> </tr> </tbody> </table> <p>観光推進事業に係る過去の評価結果</p> <ul style="list-style-type: none"> ・24.9 決算：継続 決算特別委員会指摘要望事項 一層の取り組みが進められるよう予算配分されたい。 H25 予算(充実): 観光パンフレット・アプリ制作業務 10,450 千円 ・26.9 決算審査:(城下町観光推進事業)継続(拡充) (評価結果の付帯意見) 城下町のにぎわい創出に向けたビジョンを明確にし、町家・景観に対する地元住民への啓発や城下町の情報発信に努めることにより、地元・民間活力の参画を得て、効果的な事業展開が図られることを望む。 		スマートフォンアプリ	るるぶ特別編集京都亀岡	23年度		30万部・4,830,000円	24年度			25年度	アプリ開発・2,675,000円	20万部・7,769,000円	26年度	アプリ更新・1,242,000円		27年度 (当初予算)	アプリ更新・2,800,000円	第3弾発行 8,580,000円
	スマートフォンアプリ	るるぶ特別編集京都亀岡																	
23年度		30万部・4,830,000円																	
24年度																			
25年度	アプリ開発・2,675,000円	20万部・7,769,000円																	
26年度	アプリ更新・1,242,000円																		
27年度 (当初予算)	アプリ更新・2,800,000円	第3弾発行 8,580,000円																	

事務事業評価 論点整理資料

安全なわが家の耐震化促進事業経費（木造住宅耐震化促進事業）																					
主な内容	<p>（主要施策報告書より）</p> <p>耐震診断の実施及びその結果に基づく耐震改修費用の一部助成 リーフレットの全戸配布や耐震相談会の開催、出前授業等の啓発活動 【別紙】事務事業評価提出資料参照</p>																				
選定理由	<p>（前回意見）</p> <p>耐震化率90%達成の見込みが立たない中、今後の方向性を考えるべきである。</p>																				
論点 (事業の問題点)	<p>（前回意見）</p> <p>補助金制度の実情から、今後の耐震化向上の施策のあり方は。</p>																				
留意点等	<p>耐震診断・改修補助に係る実績の推移（ほぼ横ばい）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>耐震診断</th> <th>耐震改修補助</th> <th>簡易耐震改修補助</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>23年度</td> <td>30件</td> <td>6件</td> <td></td> </tr> <tr> <td>24年度</td> <td>30件</td> <td>14件</td> <td>5件</td> </tr> <tr> <td>25年度</td> <td>21件</td> <td>14件</td> <td>9件</td> </tr> <tr> <td>26年度</td> <td>30件</td> <td>8件</td> <td>9件</td> </tr> </tbody> </table> <p>建築物耐震化促進事業に係る過去の評価結果</p> <ul style="list-style-type: none"> ・23.9 決算審査：改善・拡充 （評価結果の付帯意見） 東日本大震災を受けて耐震に対する市民意識の高まりの中、市として耐震化の姿勢を明確にすべきであり、以下の点に留意して事業の改善拡充を望む。 <ol style="list-style-type: none"> 1 広報の周知徹底による耐震啓発活動の拡充 2 地元経済対策としての住宅改修助成制度との両立 <p>耐震化進捗状況と今後の考え方について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・27年6月定例会一般質問での答弁 （進捗状況）26年度末で約80%と推定。 （市の考え）補助金の実情からも目標達成は厳しい。単費では実施困難。また、経済的負担から耐震改修は中々進んでいないのが現状。国・府に対し補助追加配分を要望している。 今後さらに相談会の回数増や広報の充実により耐震化の向上に努めていく。耐震シェルターや防災ベッド等は補助対象となっていないため、補助制度化を要望していきたい。 		耐震診断	耐震改修補助	簡易耐震改修補助	23年度	30件	6件		24年度	30件	14件	5件	25年度	21件	14件	9件	26年度	30件	8件	9件
	耐震診断	耐震改修補助	簡易耐震改修補助																		
23年度	30件	6件																			
24年度	30件	14件	5件																		
25年度	21件	14件	9件																		
26年度	30件	8件	9件																		